

関東学生並びに関東女子学生選手権（本選）における感染対策要項

2021年7月7日

関東学生ゴルフ連盟

感染対策委員会

加盟校、加盟員の皆さま

平素より本連盟の競技運営にご協力を賜り、誠にありがとうございます。特に感染対策面で多大なご協力、ご対応を行なって頂き、心より感謝申し上げます。

早速で恐縮ですが、表題の件につきまして、下記の通りお伝えさせていただきます。

目次

1、検査方法とそれに対する諸注意事項

- ①唾液採取による PCR 検査の内容説明 2 ページ
- ②検査方法の検査時における手順と注意事項 2 ページ
 - ②-1) 検査キット送付先の指定と到着日及び学連事務所での検査について 3 ページ
 - ②-2) 検体採取実施 3 ページ
 - ②-3) 検体送付 4 ページ
 - ②-4) 検査結果判明通知（陽性・陰性）について 5 ページ

2、試合当日の会場入場時における感染対策チェック項目

- ① 入場時の流れの説明と提出義務書類について 5 ページ
 - *入場を許可されないケースについて説明
- ② 入場チェック前に必ず守って頂きたい約束事

3、夏シーズンでの「熱中症」へのケアについて

- ①試合前、試合中での心得 6 ページ
- ②試合中、体調に異変をきたした場合 *COVID-19、熱中症の症状含む
- ③ロッカー並びに脱衣所使用認可について

4、その他の諸注意事項

- ①試合終了後の自制的な生活遵守のお願い 7 ページ
- ②「体調管理チェックシート」の開始日

1、検査方法とそれに対する諸注意事項

①唾液採取による PCR 検査の内容説明

既に対抗戦などでご経験されているか方々をご存知かと思いますが、本年コロナ禍での関東学生並びに関東女子学生ゴルフ選手権（以下「本競技」と表記）は、上記の通り唾液採取による PCR 検査を、表参道ヘレネクリニック様のご協力により、実施させていただきます。

その検査方法は、全ての本競技出場選手に対して、以下の形で行います。

検査キットが選手の指定された住所に届き、その中にある所定の容器に、当該選手の唾液を採取し、それを所定の検査機関に送り返す！という、迅速かつ簡素化された最新の検査方法で、検体が検査機関（午前必着）に届いたら、当日夕方～夜に判定が出ます。但し、偽陰性など再検査が必要となった場合は、翌日に判定となります。

***検査費用に関しては、出場選手全員が検査を受けて、1名当り¥2000の費用負担となりますことをご承知おき下さい。**

なお、自身の大学に附属病院などが存在、或は知り合いの病院などで、比較的容易に競技3～4日前以内に PCR 検査が受けられる選手に関しては、予め（本競技開始の2週間前までに）学連事務所までご連絡下さい。その際の検査費用は立替えて頂き、個人単位で後日精算とします。また、検査判定証明（陰性証明または、それに準じる証明できるもの）は、本競技開始の必ず2日前ないし3日前に学連事務所に提出すること（FAX可）。

*但し、本連盟からの負担援助額は税込2600円までとします。

各校指導者の方は、感染対策の見地で入場2名までとさせていただきます。その分の費用負担はご本人負担とさせていただきます。（主務またはそれに準じる者は、別途1名認可）本連盟が主導する今回の検査を受けても構いませんが、その費用は後日、本連盟よりご請求させていただきます。（ご負担金4600円）

勿論、指導者の方が、この検査方法ではなく、別の医療機関で検査を自費で受けても構いませんが、（但し、競技3日前以内）その際は、その判定証明（陰性証明または、それに準じる証明できるもの）を、事前もしくは入場時にご提出を必ずお願い致します。

②検査方法の検査時における手順と注意事項

PCR 検査キットを送付し、検体採取（唾液採取）を行い、採取後、速やかに所定の機関に返送するやり方となります。

その際の注意事項として、

②-1 (ケース1)

本競技に、遠方(都内近郊以外)もしくは複数人数(2名以上)同一大学から出場される大学に関しては、どなたか「検査キット荷受け者」を立てて頂き、その荷受け者のご住所のもとに検査キットを送付させていただきます。(その荷受け者主導のもと、検体採取をお願い致します)

但し、大学キャンパスが離れた所にいくつかある、もしくは、同じ大学内でもコロナ禍で、選手間の活動拠点が異なる場合、送付先が分かれることは許容しますので、その場合は荷受け先のお名前と住所を本連盟エントリーリストに明記、ご提出をお願い致します。

②-2 (ケース2)

本競技参加選手で、都内近郊在住の為、キット送付&返送ではなく、学連事務所に直接赴いて、そこでの検体採取を希望する選手は、予め(競技約2週間前まで)、エントリー時にその旨を、本連盟エントリーリストに明記をお願い致します。 *検査日は下記に記します

②-1) 検査キット送付先の指定と到着日 及び学連事務所での検査について

◎各大学の荷受け者宛に人数分の「PCR検査キット」が、下記の日に届きます。(運送事情で少し前に着くこともあり得ますが、ほぼ間違いなく下記の日に届きます)

・男女ともに、7月28日(水)到着

*その為、検査キットのお届け先住所・電話番号・氏名とそして登録選手全員の氏名・連絡先・生年月日を所定の「エントリー用紙」に記入し、検査の為の事前登録をお願い致します。指導者が受けられる場合もその方の氏名・連絡先・生年月日をご記入下さい。

◎学連事務所に赴いて、検体採取を希望する選手は、

・7月28日(水)午後3時~5時 もしくは

・7月29日(木)午前10時~12時 にいらして下さい。

*日時を必ず事前に本連盟に知らせること

②-2) 検体採取実施について

選手(男女ともに)は、下記の日にちに全員の検査を完了すること!

*この日以前に検体採取を行なうのは、余程の理由がない限り、検査精度上、避けて下さい。

・7月28日(水)遅くとも29日(木)午前中まで

荷受け者(或はイニシアティブがとれる者)が定める指定の場所にて、添付された検査マニュアルに従い、選手から唾液採取を行います。

その際の注意事項として、

- ・採取する場所が3密にならない所であること。
- ・採取する場所に向かう際に、密になるような移動を避けること。
- ・採取する際、密にならないよう「ソーシャルディスタンス」保持や換気を心がける。
- ・検体採取時間は、できる限り短時間（1時間以内）で一斉に済ませる。＊やむを得ず、長きに渡る場合、検体の保存は、日陰の高温にならない場所に保管する。（冷蔵庫可・但し検体なので保管方法に注意すること）
- ・採取の1時間前までに水以外の飲食は済ませ、必ず歯を磨いておくこと。
- ・採取時は水以外の飲食はNG→不純物が入る懸念があるため

②-3) 検体送付について

検査対象の全員が採取し終わったら、マニュアルに従い、採取した検体を所定のパッケージ（箱、もしくは袋・封筒の予定）に入れ、梱包したら、それを本連盟が指定する検査機関の住所に速やかに送ること。

その際の注意事項として、荷受け者（またはイニシアティブをとる者）は、

下記の日までに必ず発送を完了すること ＊翌日午前必着で送ること（着払）

・7月29日（木）の午前中に発送完了

＊検体発送を速やかに行って頂かないと、検査機関への到着が遅れ、判定結果も立ち遅れ、大きな混乱を生じます。この部分は特に留意して、迅速に発送を行って下さい。所定の時間に到着せず、**判定できない選手は、残念ですが参加が認められません。**

万が一、検体出荷が指定の日に関に合わない（できなかった）場合、その当該者は当初の検体到着日に、ヘレネクリニック並木様に一報を入れ、直接手持ち持込みでお届けください。

発送先（既に伝票に印字されています） ＊「午前必着」となっているか要確認

〒107-0062 港区南青山5-9-15 OHMOTOビル3階

表参道ヘレネクリニック宛 TEL03-3400-2277 ＊水曜、日曜休診日

担当責任者：総務部長 並木亜紀子さま TEL：050-3700-7486

＊検体採取並びに返送業務に、不測の事態が生じた場合は学連事務所へ必ずご連絡下さい。

②-4) 検査結果判明通知（陽性・陰性）について

もしも「陽性」判定が出た場合は、検査機関より本人へ連絡があるので、日本国の様式に基づき、検査機関の指示に従った行動をとって下さい。（検査機関から保健所にも連絡されます）

また、陽性判定者は、試合には出場できないので、陽性判定の結果を部の責任者（指導者・主将、主務）に必ず報告して下さい。

報告を受けて、責任者（指導者、主将、主務）は、まず所属大学当局にその旨の連絡を入れ、大学当局の指示・判断をあおいで下さい。大学当局からの指示が「陽性者以外の所属大学選手の出場を認める」や、「所属大学選手全員、出場辞退」など、どういった場合でも大学当局からの回答を本連盟にお知らせ下さい。

*同時に本連盟の所定用紙「濃厚接触チェックシート」を本人含め会場入りする同じ所属大学選手全員に記入して貰い、本連盟へメール <info@ksga.jp> もしくはファックス (03-3263-4590)にて送信し（手持ち持参可）、部内での濃厚接触の有無を速やかに確認し、クラスター発生防止、並びに実態把握に努めて頂きます。

*同じ所属大学から 2 名以上陽性者が出た場合は、クラスターの疑いとなり、その大学の所属選手は出場できません（但し、活動拠点が全く別で、普段からの接触がないことが証明された場合、この限りではありません）

★陰性判定の場合は、遅くとも 7 月 30 日（金）の夕方～夜に連絡検査機関（へレネクリニック様）より、その旨を事前登録された各選手の携帯番号宛てにショートメールでお知らせ致します。

但し、検体が午後着となった時や偽陰性など再検査が必要となった場合は、翌日（7 月 31 日）に判定となります。

判定結果に関しては、個人情報ゆえ、基本として本人への通知となりますが、安全管理面の見地から、本連盟の感染対策責任者（理事 金井）だけに 全員の検査結果データが送られてきます。その旨をご承諾下さい。

2、試合当日の会場入場時における感染対策チェック項目

① 入場時の流れの説明と提出義務書類について

入場の際は、本連盟が定める所定の場所（わかりやすい場所に設置します）にて、感染対策の見地で、一人一人チェックを行います。

1) まず、所定の項目（体調面や平均体温）をきちんと記入した「体調管理シート」を必ず提出→シートを提出できない或いは内容が記入されていない場合入場できません。

↓

2) シート提出時・直後すぐにサーモグラフィーによる「検温」を行います。
→その際、シートに記載の平均体温より 1 度を超えて高い体温の者は、「再検温」の場所に回って頂き、より精度の高い検温器で再度、測り直します。それでも、前述の規定「平均体温より 1 度を超えて高い体温」に抵触した者、又は 37.5 度以上の者は入場できません。

②入場チェック前に必ず守って頂きたい約束事

感染対策の大切なポイントとして、選手の方々は、以下の点を必ず遵守して下さい。

- 1) 当日の朝(試合会場出発前)に、発熱症状(平均体温より1度を超えて高い場合)或いは体調を崩していないか?!のご自身で確認チェック。
- 2) 上記に該当する選手は、コース入りしない勇気を持ち、速やかに欠場の届出を行うこと。
- 3) 「体調管理チェックシート」を忘れていないか? また、記入漏れ(特に平均体温や氏名、連絡先など)がないか?

3、夏シーズンでの「熱中症」へのケアについて

この時期、感染症と共に、ケアしなければならない一つに熱中症が挙げられます。その症状は、脱水症状はもとより、発熱や意識の朦朧、息苦しさも見られ、コロナ感染症にも類似しており、より一層の注意が必要です。(ガイドライン P17~18 参照)

①試合前、試合中での心得

- ・試合に臨むにあたり、体調管理に努める(特に寝不足、疲労、食生活の乱れは要注意)。
- ・水分補給→最低でも1日2~3リットルの水やスポーツドリンクでこまめに補給する。
- ・体温調節→直射日光を避ける「日傘」はマストアイテム! また身体をクールダウンさせる熱中症対策グッズも有効。

②試合中、体調に異変をきたした場合 *COVID-19、熱中症の症状含む

外傷など、理由がはっきりしている場合を除き(例えば毒虫に刺された・転んで手を怪我した或は本人がわかっている自己疾患等)、速やかにその症状を含めて本連盟の運営事務局に申し出ること。その上で、

- ・コースから紹介頂いた近隣病院、または身近な医師に相談。
- ・救急車(119番)へ連絡しそこで適切な対応して貰う。*このケースが最もあり得る。

*ガイドライン『競技会場でのCOVID-19を疑う症状を発症した場合の対処マニュアル』参照

また病状の確定ができなくとも、発熱や倦怠感、朦朧感、咳き込む、喉の痛み、脱水症状などの症状が、一人でも認められた場合は、安全管理上、その日の競技は中止とします。

(翌日の競技開催有無は、その時の状況を鑑み、本連盟の判断とします)

*但し、だからといって症状を隠すことや、無理をすることはせず、遠慮なく学連関係者へ申し出て下さい。(その勇気によって、クラスターを断ち切る対応が可能となりますし、何よりも大切な参加者の「命」「健康」を救う判断となります

③ロッカー並びに脱衣所使用認可について

本競技に関しては、猛暑の中、汗をかいたままの状態を放置し、健康を害するリスクも考慮し、ロッカー使用並びに脱衣所での着替えを認可します。但しディスタンスをとり、マスク着用、消毒の励行、私語厳禁、短時間利用が前提条件。 *マイタオル持参が望ましい

また、ガイドラインでは原則禁止だが、豪雨や汗による全身が濡れた状態で、それを洗い流す為、希望する選手にはシャワー利用も今回は認可するが、前述同様、脱衣所でディスタンスをとり、マスク着用、消毒の励行、私語厳禁、短時間利用（10～15分程度）の遵守徹底をお願い致します。

*ロッカー、脱衣所、シャワーを使用しに行く為の導線に消毒液を設置しますので、使用開始時、そして終わった際にその消毒液で**手指消毒を必ず励行して下さい**。それを守られないことが多い場合は、感染対策上、危険と判断し、使用を中止としますので、ご協力の程、宜しくをお願い致します。

4、その他の諸注意事項

①試合終了後の自制的な生活遵守のお願い

その日の試合が終了した後も、ガイドラインにならって、感染対策の見地において、自制的な日常生活を過ごし、健全、健康な身体、体調管理を整えられるよう、宜しくをお願い致します。

②「**体調管理チェックシート**」の開始日 *試合開始当日から 15 日前 ・男女ともに**7月20日（火）**から開始

本連盟としても事前準備含め、より円滑に推進できるように努めます。しかしながら目まぐるしく変わる感染状況への対応や不慣れな部分もあり、選手の皆さまには細かい段取りを強いらせてしまいますが、感染対策の見地で、安心・安全な競技開催を具現化する為の大切な行動指標として、ご理解頂ければ幸いです。

また、感染力の強いデルタ株が拡大傾向の昨今において、**本連盟ガイドライン記載の「競技前14日間の水際対策」**を今まで以上にしっかり行うことが**重要**になって参ります。こちらの熟読・熟知も今一度、お願いしたいと思います。

このコロナ禍での競技開催が、皆さまにとっても本連盟にとっても、今後（未来）に繋がる有意義な開催となることを切に願っております。 以上